

IRB番号「2019-GA-1024」

研究課題名「ホルモン受容体陽性乳癌における非コードRNA及び転写関連因子の発現と内分泌療法の反応性及び予後の検討」

1. 研究の対象

①2005年から2006年にがん研有明病院で、腫瘍径2cm以上の乳癌に対して手術を受けられた方と、②2000年～2016年にがん研究会有明病院で乳癌の手術が行われ、その後に転移再発して、転移再発巣の生検または手術を受けられた方が対象となります。

2. 研究の目的・方法

意義：ホルモン受容体陽性乳癌では、長期間の内分泌療法後に治療抵抗性を獲得して再発することが問題となっています。試験管内の実験において、再発乳癌モデル細胞ではエストロゲンをコードするESR1遺伝子の転写が活性化され、さらにESR1の遺伝子座の近隣にタンパク質に翻訳されない一群の非コードRNAが転写されていることが分かりました。これをEleanorsと命名し、Eleanorsが阻害されると乳がん細胞の増殖が抑えられることが明らかになりました。私たちはホルモン受容体陽性再発乳癌の患者さんの組織標本を用いて、Eleanorsと転写関連因子の発現が内分泌療法の治療の効果やその後の臨床経過に与える影響について検討したいと考えています。この研究で得られた情報によって、乳がんの再発機構の解明のみならず、将来の再発乳がんに対する新たな治療戦略の提供につながる可能性があると考えています。この研究はその第一歩として大変重要な研究であるといえます。

目的：この研究はホルモン受容体陽性再発乳癌の患者さんを対象として、再発巣のEleanorsを中心とした遺伝子の転写情報を分析し、治療の効果及び臨床経過との関連性を解析することを目的としています。

方法：検査や手術時に摘出した組織の残りを使得、Eleanors等の発現の特徴を詳しく調べます。この方法は後ろ向き観察研究という方法で、患者さんの負担はありません。

3. 研究期間

承認日 ～ 2024年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

5. 外部への試料・情報の提供

外部への資料や情報の提供は予定しておりません。

6. 研究組織

(既存試料・情報の提供を行う機関)
埼玉県立がんセンター・乳腺外科 松本 広志

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

がん研究会 情報公開文書

複数施設研究用

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号

研究代表者 公益財団法人がん研究所がん生物部 福岡 恵

研究責任者 公益財団法人がん研究会有明病院 乳腺外科部長 上野貴之

連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141

研究代表者：

公益財団法人 がん研究会がん研究所

〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号

がん生物部 福岡 恵